

ふるさとと歴史 アラカルト

岩国市の公民館第一号「祖生公民館」

現在、岩国市内には公民館および分館が合わせて16館あります。その中で最も早くにつくられたのが祖生公民館（現周東祖生公民館）です。今回は、戦後間もない頃に誕生した祖生公民館と、設置に尽力した祖生村長・亀岡助一について紹介します。

亀岡は、もともと祖生尋常高等小学校（岩国市立そお小学校の前身）の教師を勤めるほか、青年会で指導するなど広く教育に携わってきました。

亀岡が公民館の設置を目指すきっかけとなったのが、昭和21（1946）年7月に文部省（現文部科学省）より出された文書「公民館設置運営について」です。この文書には「新しい日本に生まれ変わるため、公民館は国民の文化的教養を養い、また文化・教養の機関として市町村振興の底力を生み出す」という公民館設置の趣旨が記されています。この趣旨に感銘を受けた亀岡は、昭和22（1947）年4月に祖生村長に就任すると早速、公民館設置準備会を発足しました。

一方、戦後の荒廃した社会の中で、村民からは多くの反対論が出ました。しかし亀岡の「郷土の振興や人心の復興のためには社会教育以外にない」という強い信念と熱意によって少しずつ協力を増やし、村民の理解を得ていきました。

そして昭和22（1947）年11月の村議会で「祖生公民館設置条例」が定められ、祖生公民館は誕生しました。館は当初、祖生中学校内に併設されましたが、昭和24（1949）年12月、祖生小学校運動場の東端に新しい建物が完成しました。この建物は、講堂や図書室などを備えた木造二階建てで、山口県内で初めての新築公民館でもありました。その後、社会教育の広がりとともに、さらなる施設の充実を図るため、館は昭和49（1974）年に現在地へ移転し、現在は周東祖生公民館となっています。

今日、公民館は市内各所につくられ、文化活動やスポーツ、学びの場として社会教育を支えています。

岩国徴古館

昭和20年に旧岩国藩主吉川家によって建てられ、その後岩国市に移管された市立の博物館
住所：横山二丁目7-19 ☎(41)0452
休館日：月曜（祝日の場合はその翌日）

※1 青年たちによって組織された集団。集団生活の中で人間形成を目指した教育が行われた
※2 学校以外の社会のさまざまな場面で行われる教育活動のこと



写真：「祖生公民館」
（岩国市教育委員会周東支所蔵）

岩国市 人口・世帯

人口 129,874人【前月比 -244人】 男性 61,909人 女性 67,965人

世帯 65,180世帯【前月比 -91世帯】 ※外国人人口を含む(2022年3月1日現在)

交通事故発生件数

2月分事故件数 24件(44件) 死者数 0人(0人) 傷者数 28人(50人)

※高速道路発生分を除く。()内は2022年累計

目の不自由な人へ

「広報いわくに」のカセットテープをお貸しします。
お問い合わせは、広報戦略課 ☎(29)5016 FAX(21)3337